

業務名称： JICA-Net課題対応力強化及びコンテンツ活用促進事業（ランプサム）

(公告日： 2025年12月12日 調達管理番号： 25a00759) について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 5	(4) 再委託	再委託は原則禁止とあるが、撮影機材及びカメラマン、MA作業などは再委託は可能か？	撮影機材及びカメラマン、MA作業などの部分的な業務の再委託は可能です。
2	P. 18	5.1 企画段階 (1) 全体制作工程表の作成	管理における進捗管理状況を主管部に報告する会議を必要に応じて随時（1時間×5回程度を想定）は案件従事中何回ぐらいを想定しているのか？	契約期間中に最大で5回程度、全体または個別案件の業務進捗を確認する会議が想定されます。総括が個別進捗を把握されている場合には総括のみの参加で問題ありませんが、特定の案件の進捗に懸念がある場合には担当するディレクターとともに会議にて確認させていただくことがございます。
3	P. 21	5. 業務内容 (3) 著作権・肖像権の処理	公的な資料などの第三者著作物について全て無償で利用できる場合は利用可能とのことだが、有償でも包括的な使用が可能な場合（JICAネット上での使用については期間を限らず使用可など）の場合は有償でも良いのか？	有償の著作物を利用いただくことについて妨げません。
4	P. 21	(4) 事前編集／Interim版の制作	ナレーターについて、AIナレーションの使用の可能性はないのか？	原則として、プロのナレーターによる吹き込みを行っていただきます。但しプロのナレーターと遜色がなく、AIナレーションを利用することにJICA側制作担当部及び契約主管部の関係者が合意する場合には、一部の動画にてAI音声を利用することを妨げません。
5	P. 21	(5) 翻訳業務	必ずネイティブチェックを行った上で、JICA制作担当部へ提出する。JICA側での最終チェックに10日間ほど要するとあるが、JICA内での用語などはネイティブチェックでもその確認が難しいと考え、そのためのJICA側の最終チェックと想定して良いか？	ご理解のとおりです。
6	P. 22	(6) 映像素材の整理／映像素材の記録・保存	これはクリーンピクチャーと理解して良いか？あるいは撮影・作成した全素材のことか？	あとから各プラットフォームや用途に応じて独自編集ができる、加工前の映像ベース素材の事を指します。つまり、クリーンピクチャーや撮影した素材（完成版に使用していないが本動画制作を前提に収録した素材含む）などを指します。
7	P. 22	(7) 制作業務における合理的配慮に係る対応について	「動画解説資料」（場面説明、図表やグラフの説明等、字幕からは読み取れない情報を補足する資料）を作成は追加予算が出ると考えて良いのか？	追加予算はありません。基本的には動画の中で基本的な合理的配慮をおこなっていただきます。どうしても動画の中での実装が難しく、別途の資料無くして視覚障害者が動画の内容を理解できないと判断する場合に補足的な成果物として受託者側とJICA側が合意の上で制作することになります。一律に作成するものではありません。
8	P. 38		定額計上の中に、下見（いわゆるロケハン）の交通費・宿泊費は含まれているのか？	含まれています。